

令和7年度事業報告について

我が国の経済は、緩やかな回復基調にあるものの、物価上昇やエネルギー価格の高騰、人手不足の深刻化などにより、依然として先行き不透明な状況が続いています。加えて、震災の影響や人口減少、少子高齢化の進展により、地域社会を取り巻く環境は大きく変化しています。

このような状況の中、高齢者の就業機会の確保と地域社会への貢献を目的とするシルバー人材センターの役割は、ますます重要となっています。

令和7年度は、「人生100年時代」を見据え、会員が長年培ってきた知識や経験を活かしながら、安全で安心して働ける環境づくりに努め、「生涯現役社会」の実現に向けた取り組みを推進しました。

また、昨年度に引き続き復興推進隊事業にも積極的に取り組み、会員の確保及び就業機会の拡大に努めました。

令和8年度においても、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、より一層の事業充実と運営の改善に努めてまいります。

以下、令和7年度事業実績の概要について報告いたします。

1. 雇用によらない就業機会の提供

- (1) 地方公共団体、民間企業及び一般家庭への訪問活動を実施し、就業機会の拡大に努めました。
- (2) 関係機関と連携し、空き家の適正管理や復興推進に係る事業など地域課題に対応する事業に取り組み、新たな就業機会の創出につなげました。

2. 雇用による就業機会の提供事業

- (1) 石川県シルバー人材センター連合会と連携を図りながら、シルバー派遣事業をより一層推進し、多様な就業機会の確保に努めました。

3. 技能講習・研修事業

地震後、認知症予備軍が大幅に増えていることを踏まえ、健康教室・カラオケ交流会及び認知症予防講座を開催しました。

4. 就業支援に係る受託事業

県シ連が行う高年齢求職者等を対象に実施する就業支援等に係る事業の実施に協力しました。

- (1)刈払機取扱い安全講習 5月29日 23名
- (2)クリーンスタッフ講習 7月15～16日 5名

5. 1～3の事業及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動事業

(1) 普及啓発活動の推進

- ① 秋の収穫祭としてセンター独自のイベントを開催しました。
- ② 町の広報誌にチラシを折り込み、センターのPRを行いました。

(2) 安全・適正就業の推進と事故防止

- ① 職員によるパトロールを随時行いました。
- ② 除草業務安全就業講習会を開催し、事故の未然防止に努めました。

(3) 調査・研究

今後の事業発展につなげるため、先進地を視察研修し独自事業や事業運営について学びました。

(4) 就業機会の開拓・拡大

高年齢者が自らの能力や希望に応じた就業機会を享受できるよう、公共団体や民間事業所、個人からの要望等を的確に把握し、仕事の需給調整と就業先の開拓等を行いました。

(5) 相談、情報提供

随時入会説明会を開催するとともに、未就業会員等を対象とした就業相談や就業情報の提供も行いました。